

名前：

今日、我々があふれる種類のニュースをインターネットで見ることが出来る。そしてその大部分が、紙媒体である新聞や雑誌よりも早く入手することができ、しかも無料だ。

しかし、我々がインターネットで見ることこれらのニュースは、大半が新聞社や雑誌社、テレビ局のWebサイトから発信されたものである。そして、新聞社や雑誌社の大半はこれらのインターネットにおけるニュース配信からは充分な利益を引き出せずにいる。近年ではWebサイトにおける広告収入が注目されるが、それだけで取材等の報道コストをまかなうのは不可能である。つまり、新聞や雑誌が存続してこそインターネットでニュースが見られるのである。

インターネットにおけるニュースの大半が新聞社など既存の報道機関の手によるものであることは既に述べた。では、残りのニュースソースは何かという点、個人が開設しているホームページや、ブログなどである。特に

近年ブログが盛場してからは、インターネットにおけるニュース配信源として個人が注目されるのである。いくつか数年の間に現地の状況を発信するブログが有名になった。また、近年では公的機関もその影響力を認めるようになり、米大統領とブログ（ブログを多くの人の通称）の昼食会が開かれたり、米国務省もブログで対象とした政策説明会を開くなどしている。

だが、こういう、個人が発信するニュースには問題も多い。新聞社などの報道機関に比べると信頼性に欠けた部分があり、中には、やめようと思えばいつでもやめられるのである。そして、個人の資金力や影響力では報道が困難な事件も多くある。もしそのような事件を扱おうと考えるならば、より多くの資金のため、逆にブログを紙媒体の形態で出版することもあり得るだろう。

以上のように考えると、個人の好みに関わらず、新聞や雑誌は不可欠と言えそうだ。

1800字